



オープンした「とりさし日和」

初め飲食店「とりさし日和」
西宮・苦楽園口にオープン

大阪市北区梅田でモデルやタレントの職業紹介業務を手掛ける同社（金住謙一郎社長）は6月、初の飲食店となる「とりさし日和」を兵庫県西宮市南越木岩町にオープンしました。

テイクアウト、イートインともに可能な鳥刺し専門店。材料の鶏は鹿児島で徹底した健康管理の元に育てられ、処理後は一度も冷凍せずに直送された、生食用の鳥刺しです。ユッケやたたき、炭火焼きなど豊富なメニューは値段もリーズナブル。阪急苦楽園口駅から徒歩5分の好立地です。

「和菓子をもっと自由に、もっと身近に」をコンセプトに、若い世代と和菓子文化をつなぐ入り口として本格かき氷を提供。職人による自家製ソースと餡、隠れ家のような落ち着いた空間が特徴です。定番の黒蜜きな粉や白玉濃茶、地元農園のいちご、ブルーベリーなど種類も豊富。新しい和スイーツ文化の発信を目指します。



販売している「あんどーなつソフト」(左)
「東大阪 川浦農園いちご水」

若者に和菓子文化の入り口を
本格かき氷店「しらほのかくれ家」

東大阪市で地元食材を生かした和菓子を製造する同社（新澤貴之社長）は6月、若江岩田本店の隣にかき氷専門店「しらほのかくれ家」をオープンしました。



淀屋橋にオープンした「魚ト炭ト酒 大阪の燗兵衛」

◀ 同社ホームページ

「魚ト炭ト酒 大阪の燗兵衛」
淀屋橋ゲートタワーにオープン

兵庫県三田市に本社を置き、大阪市内で人気の居酒屋「北浜の和がや」など4店舗を運営する同社（吉田眞一社長）は7月、新たに「魚ト炭ト酒 大阪の燗兵衛 淀屋橋ゲートタワー店」をオープンしました。

ビジネスマンから幅広い客層をターゲットに、新鮮な海鮮や全国産の郷土料理、予算に応じたコースを用意。ドリンクは50種類以上が楽しめます。客席はカウンターを含め50席あり、1人客から少人数の飲み会、大規模宴会まで対応。駅直結の利便性も魅力です。



「ベスト・ファーマー賞in関西」の発表・授賞式

（株）シズルジャパン（梅田支店）
ベスト・ファーマー賞in関西
西脇・京都府知事ら6名が受賞

大阪市北区梅田でイベントプロデュース・広告代理業を営む同社。金住哲子社長が理事長を務める日本生活文化推進協議会主催の「2026年度第19回ベスト・ファーマー賞in関西」が決まり、発表・授賞式が6月、帝国ホテル大阪で開かれました。

父の日に合わせ、関西出身または関西で活躍する素敵なお父さんを毎年選出。京都府知事の西脇隆俊さん、ロックミュージシャンのMIYAVIさん、（株）イシダ社長の石田隆英さんら6部門6名が受賞しました。



渡具知 武豊・名護市長(中央)、嘉陽 宗一郎・名護市議会議員(左)に目録を手渡す大江社長

（株）大通（都島本通支店）
沖縄県名護市の文化振興を願い
企業版ふるさと納税で寄付

大阪市都島区都島北通で印刷業務全般を手掛ける同社（大江美佐社長）は、当金庫総代は、企業版ふるさと納税制度を活用して沖縄県名護市に寄付。5月に同市役所で目録の贈呈式が行われました。

同社は同市古我知の広大な敷地に、古民家をリノベーションした1日1組限定の宿泊施設「ヴィラ・コガチ・アラマンダ」を所有。寄付は大江社長の「名護の文化・伝統の振興の一助になれば」との思いから実施しました。同市が4月に企業版ふるさと納税基金を創設後、第1号の寄付となりました。



大阪府産業資源循環協会から贈られた表彰状

（株）リサイクル松栄（西九条支店）
循環型社会形成に多大な貢献
大阪府産業資源循環協会から表彰

大阪市西淀川区中島を拠点に産業廃棄物中間処理業・収集運搬業などを営む同社（松尾美香社長）は6月、(公社)大阪府産業資源循環協会から優良事業者表彰を受けました。

「環境にやさしい企業」を経営理念に掲げ、廃棄物の適正な処理と資源の有効利用を推進。2019年には鳥取県と「とつとりの森『カーボン・オフセット』パートナー協定」を結び、県内の森林整備の促進に協力しています。業界の模範として、循環型社会の形成に多大な貢献をしたと評価されました。



大勢の来場者でにぎわった会場

山忠木材（株）（恵加島支店）
地域や木に感謝する恒例イベント
親子連れら木工教室などを楽しむ

大阪市大正区千島で各種建築用木材建材を販売する同社（山本忠社長）はこのたび、恒例の地域交流イベント「きこころサロンのまつり」を開催しました。

イベントには同区社会福祉協議会が協賛。地域や木への感謝を込めて毎年開催しており、今年で11回目です。当日は木工教室や丸太切り、元世界チャンピオンによるけん玉教室など多彩な催しが企画され、親子連れら約300名が来場。区役所や地元工務店紹介、住まい相談のブースなども終日にぎわいました。

せんだぎ 川柳

ギフト

川柳塔社副理事長 編集長 木本朱夏選

夏にメロン秋に松茸待っている
小山恵美子

神からの贈り物です孫二人
鈴木栄子

ギフト券使い切る為ムダ遣い
岩元一美

サンタさんそりギフト置いて去る
浜下栄子

羨まし才能溢れるギフトテッド
浜下 脩

そのギフト知らぬ顔する議員様
水口千枝子

嫁が来る今日もおいしいパン持って
畑 千爲子

中元は妻は3回俺はなし
田尾 暉年

ハム貰いとても高価で恐れ入る
木村 太

手間省くギフトに頼る共稼ぎ
西田 育弘

11月号の題は「大胆」です。
10月15日締め切り。1人3句以内、
ハガキでお送りください。

● 投句先
〒541-0041
大阪市中央区北浜2-5-4
大阪シティ信用金庫 セんだぎ川柳係

※俳句の募集は現在、行っておりません。